

令和元事業年度

決 算 報 告 書

自：平成31年4月 1日

至：令和 2年3月31日

国立大学法人静岡大学

令和元年度決算報告書

国立大学法人静岡大学

(単位：百万円)

区 分	予算額	決算額	差 額 (決算－予算)	備 考
収入				
運営費交付金	9,287	9,326	39	(注1)
施設整備費補助金	1,951	1,911	△ 40	(注2)
船舶建造費補助金	-	-	-	
施設整備資金貸付金償還時補助金	-	-	-	
補助金等収入	281	428	147	(注3)
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	39	39	-	
自己収入	5,735	5,734	△ 1	
授業料及び入学料検定料収入	5,487	5,278	△ 208	(注4)
附属病院収入	-	-	-	
財産処分収入	-	-	-	
雑収入	247	455	207	(注5)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	1,633	1,962	328	(注6)
長期借入金収入	-	-	-	
貸付回収金	-	-	-	
承継剰余金	-	-	-	
旧法人承継積立金	-	-	-	
目的積立金取崩	21	62	40	(注7)
計	18,950	19,465	514	
支出				
業務費	15,045	14,976	△ 69	
教育研究経費	15,045	14,976	△ 69	(注8)
診療経費	-	-	-	
施設整備費	1,990	1,950	△ 40	(注9)
船舶建造費	-	-	-	
補助金等	281	428	147	(注10)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	1,633	1,745	112	(注11)
貸付金	-	-	-	
長期借入金償還金	-	31	31	(注12)
大学改革支援・学位授与機構施設費納付金	-	-	-	
計	18,950	19,132	181	
収入－支出	-	332	332	

注：百万円未満の端数については、切捨で表示してあります。

○予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、年度中に退職手当等の追加配分があったため、決算額が39百万円多額となっています。
- (注2) 施設整備費補助金については、繰越額を多く見積もっていたため、予算額に比して決算額が40百万円少額となっています。
- (注3) 補助金等収入については、予算段階で予定していた額よりも多くの補助金を得られたため、決算額が147百万円多額となっています。
- (注4) 授業料及び入学料検定料収入については、授業料・入学料免除の実施や適正な定員管理に努め在籍者が減少したことなどにより、予算額に比して決算額が208百万円少額となっています。
- (注5) 雑収入については、主として科学研究費補助金の間接経費の増などにより、決算額が207百万円多額となっています。
- (注6) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、受託研究等及び寄附金の獲得に努めたため、決算額が328百万円多額となっています。
- (注7) 目的積立金取崩については、実施時期が未定であった新規事業の実施等により、決算額が40百万円多額となっています。
- (注8) (注1)、(注4)、(注5)に示した理由等により、決算額が69百万円少額となっています。
- (注9) (注2)に示した理由等により、決算額が40百万円少額となっています。
- (注10) (注3)に示した理由等により、決算額が147百万円多額となっています。
- (注11) (注6)に示した理由や事業繰越となったことにより、予算額に比して決算額が112百万円多額となっています。
- (注12) 長期借入金の償還開始に伴い、決算額が31百万円となっています。